

平成 31 年度

# 入 学 者 選 拔 要 項

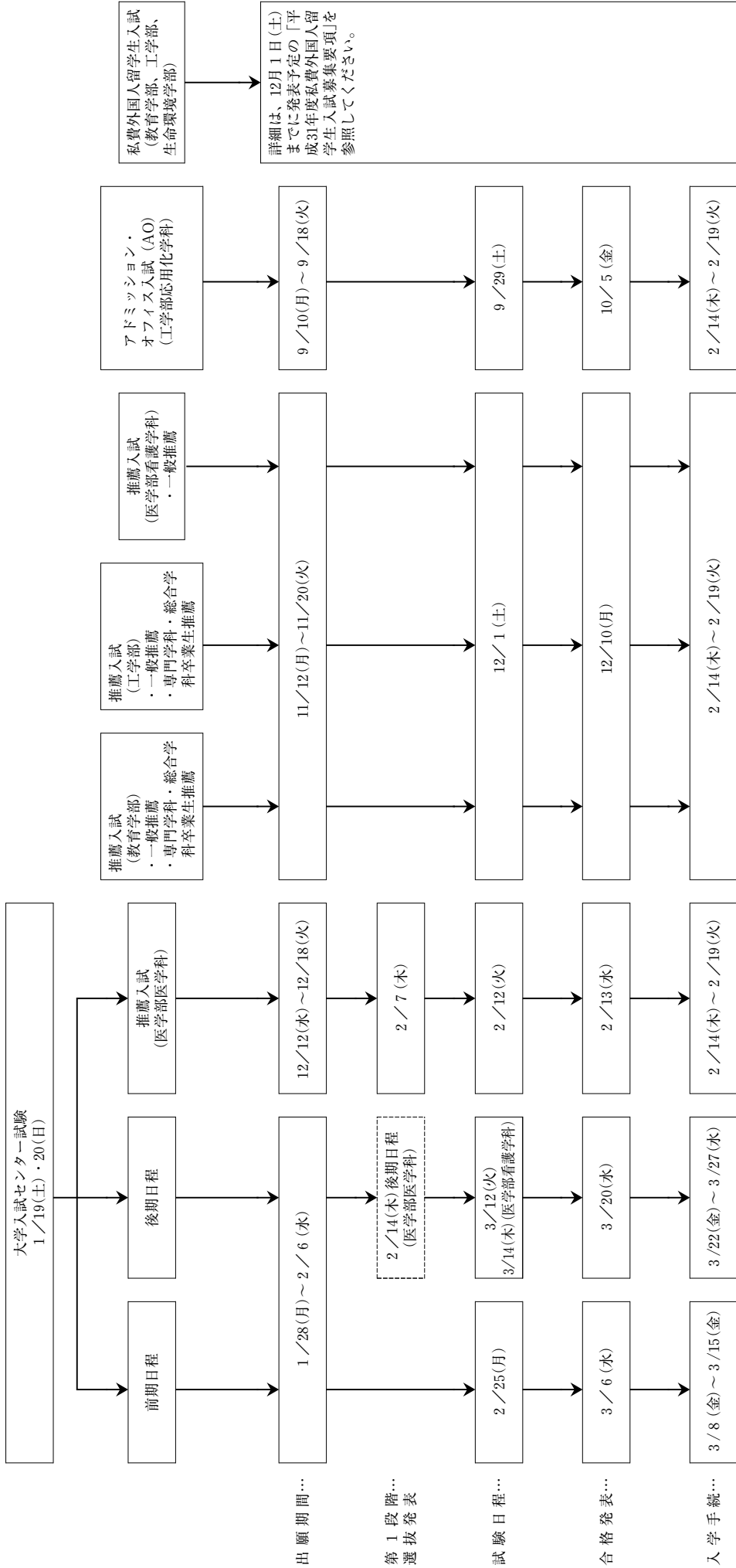


UNIVERSITY  
OF  
YAMANASHI

山梨大学

(<https://www.yamanashi.ac.jp>)

# 山梨大学入学者選抜日程の概要



- ・ [ ] は、医学部医学科のみ実施します。
- ・ 医学部医学科の一般入試は、後期日程のみ実施します。
- ・ 入学手続の詳細については、合格者に別途通知します。
- ・ 工学部の一般入試(前期日程)については、東京試験場及び名古屋試験場でも実施します。詳細は、「一般入試学生募集要項」を参照してください。

## 《アドミッション・ポリシー》

### ◇山梨大学の理念・目標とアドミッション・ポリシー

#### [理念・目的]

豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と深い専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する教育・研究を行います。

#### [キャッチフレーズ]

地域の中核、世界の人材

#### [教育目標]

個人の尊厳を重んじ、多様な文化や価値観を受け入れ、自ら課題を見だし解決に努力する積極性、先見性、創造性に富んだ人材の養成を目指しています。

#### [アドミッション・ポリシー]

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指しています。これを実現するため、学部・学科などの教育プログラムには、その修了に必要な教養、汎用能力、専門能力をすべて身につけられるカリキュラムが編成されています。本学では、これらのカリキュラムを知的好奇心をもって継続的・主体的に修得して卒業し、専門分野に関する高度な能力を通じて社会に貢献する志をもつとともに、入学時において以下のような基礎的な資質能力を有する人物を国内外から受け入れます。

#### [入学者に求める資質能力]

高等学校で履修する、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等について、内容を理解し、高校卒業程度の知識を有している人その他、各教育プログラムの学修に必要な資質能力（思考力・判断力・表現力など）を有する人

### ▽教育学部の理念・目標とアドミッション・ポリシー

#### [理念・目的]

人間と文化・社会に関する幅広い視野と教養をもち、人間の生涯発達と学習についての専門的な知識を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する人材養成のための教育・研究を目的にしています。

#### [キャッチフレーズ]

豊かな人間性と教育文化

#### [教育目標]

人間の生涯発達を視野に収め、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教育人の養成を目指します。

#### [アドミッション・ポリシー]

これからの子どもの成長と発達に高い関心を持ち、教育現場の諸問題に取り組むことのできる情熱を持った教員を目指す人を求めています。そこで、次のような資質と能力を持つ人の受験を期待します。

- ・子どもの成長・発達や学校教育に対して高い関心を持っている人
- ・自ら深く学ぶため主体的に課題を見出すことができる人
- ・課題の解決に向けた探求の努力を継続する意欲のある人
- ・多様な考えの人たちと協力できるコミュニケーション能力や協調性を備えた人

#### [入学前に学習しておくことが期待される内容]

各コースの専門性に応じた教科・科目の内容を確実に身につけておくことが必要です。同時に、将来教育に携わる者として、子どもの成長・発達や学校教育に対する関心、多様な考えの人たちとのコミュニケーション能力、個性豊かな考えとそれを表現する力を、様々な活動を通して身につけておくことを望んでいます。

## ▽医学部の理念・目標とアドミッション・ポリシー

### [理念・目的]

深い人間愛と広い視野を持ち、医の倫理を身につけ、科学的根拠に基づいた医学的知識、技術を備え、地域医療や国際医療に貢献できる医療人や国際的に活躍できる優れた研究者を養成する教育・研究を行います。

### [キャッチフレーズ]

国民の健康を支える医療人育成

### [教育目標]

病める人の苦痛を自らの苦痛と感ずることができ、生涯にわたって医学的知識、技術の修得に努め、地域社会・国際社会の保健医療・福祉に貢献する人材及び疾患の原因解明や治療法の開発に寄与できる研究者の養成を目指しています。

### [アドミッション・ポリシー]

医学部では、「国民の健康を支える医療人の育成」を行うため、次のような資質と能力を持つ人材を求めています

- ・単に病気やけがを治すだけでなく、一人一人に最良の医療を提供するために、努力を惜しまない人
- ・健康問題に興味があり、地域医療や国際医療に貢献したいと考えている人
- ・疾患の原因を解明し、治療法を開発したいと考えている人
- ・深い人間愛と広い視野を持ちコミュニケーション能力が高い人

### [入学前に学習しておくことが期待される内容]

医学部の授業内容を理解するためには、各コースの専門性に応じた高等学校における教科・科目の内容を確実に身につけておくことが必要です。さらに、学科の違いによって次のような違いがあります。

#### ○医学科

医学部で幅広い医学的知識を学習するために必要な基礎学力を身につけておいてください。特に、大学受験の理科科目として物理学、化学を選択した学生であっても生物学の基礎を修得していることを望みます。外国語の修得には時間がかかりますので、入学前から常に英語力の向上を目指してください。また、多彩な人との豊かな人間関係を築くこと、様々な組織の中でチームワークによる活動の経験を持つことによって、医療人に求められる高い倫理観、信頼される人間性、広い社会的視野を涵養することを心掛けてください。

#### ○看護学科

看護学科入学までに高等学校で学ぶ数学、理科、国語、英語、社会の内容を十分理解していることが必要です。加えて、主体的に学習する態度を身につけ、多様な世代の人々と豊かな人間関係を築き、国内外の社会情勢の変化に眼を向けてください。

## ▽工学部の理念・目標とアドミッション・ポリシー

### [理念・目的]

広い教養と深い専門知識を身につけ、豊かな想像力と優れた判断力を備えた、将来を担う工学系技術者を養成する教育・研究を行います。

### [キャッチフレーズ]

未来世代を思いやるエンジニアリング教育

### [教育目標]

基礎的・専門的学力、論理的な表現力やコミュニケーション能力を修得するとともに、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけた人材を養成します。

### [アドミッション・ポリシー]

工学部では、「未来世代を思いやるエンジニアリング教育」をキャッチフレーズとして掲げ「広い教養と

深い専門性をもち豊かな想像力と優れた判断力を備えた将来を担う工学系技術者を養成する」ため、工学技術者となって社会に貢献しようとする意志を持ち、積極的な学習意欲、基礎的学力、論理的思考力・表現力などを有する人を求めています。

#### [入学前に学習しておくことが期待される内容]

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、社会の内容を十分に理解していることが必要です。希望する学科の専門に関連する内容を理解するだけでなく、自分の言葉で他者とコミュニケーションする素養を持つことを期待しています。

### ▽生命環境学部の理念・目標とアドミッション・ポリシー

#### [理念・目的]

自然と社会の共生科学に基づき、広い視野と深い専門知識を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄を担う人材を養成する教育・研究を行います。

#### [キャッチフレーズ]

自然と社会の共生科学の創生

#### [教育目標]

生命科学・食物生産・環境科学・社会科学に関する実践教育により、広範な知識を統合し、問題を発見し解決する能力を身につけ、自然と社会の共生の観点から持続可能で豊かな地域社会を実現できる人材の養成を目指します。

#### [アドミッション・ポリシー]

生命環境学部では、「自然と社会の共生科学の創生」を行うため、自然と社会の共生科学の視点から、生命・食・環境・経営などの諸課題に取組み、解決する意欲をもつ人を求めています。

#### [入学前に学習しておくことが期待される内容]

生命環境学部では、授業内容を理解するために、学科の専門性に応じた高等学校における教科・科目の内容を確実に身につけておくことが必要です。さらに、学科の違いによって次のような違いがあります。

##### ○生命工学科

バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識が必要です。論理的思考力を養うため、数学の素養も望んでいます。入学試験で課している科目について、十分な学力を有していることを期待しています。

##### ○地域食物科学科

食物生産あるいはワイン製造に関する課題を解決するためには、原料の生産・加工・利用等を含む総合的な知識が必要です。したがって、高等学校で学ぶ化学・生物などの理科学科目を十分に理解できていることを望んでいます。また、自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけておくことを期待しています。

##### ○環境科学科

高等学校で履修した物理、化学、生物、地学といった理系科目に加え、自分の言葉で他者とコミュニケーションをとるための国語や外国語の素養が身につけていることを望んでいます。さらに、地理歴史、公民といった社会系科目に対する理解と同時に、環境に対する関心や興味を持っていることを期待しています。

##### ○地域社会システム学科

普段から新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題に強い関心を持っていることを望んでいます。入学試験で課している科目の基礎的内容を十分に理解していることが必要です。

# I 入学定員（募集人員）

学部	課程・学科・コース名	入学定員	募 集 人 員							総募集人員
			一 般 入 試		推 薦 入 試			アドミッ ション・オ フイス入 試	私費外 国人留 学生入 試	
			前期日程	後期日程	一般枠	地域枠	専門学科 ・総合学科 卒業生			
教育 学部	学校教育課程	125							若干人	
	幼小発達教育コース		15	5						20
	障害児教育コース		12	5	3					20
	言語教育コース		10	3	2					15
	生活社会教育コース		15	5	2					22
	科学教育コース		18	6	3		1			28
	芸術身体教育コース	8	4	8				20		
計	125	78	28	18		1		125		
医 学部	医学科	125		90		35人以内				125
	看護学科	60	30	5	25					60
	計	185	30	95	25	35人以内				185
工 学 部	機械工学科	55	37	8	10				若干人	55
	電気電子工学科	55	35	7	10		3			55
	コンピュータ理工学科	55	35	8	10		2			55
	情報メカトロニクス工学科	55	35	5	13		2			55
	土木環境工学科	55	33	7	15					55
	応用化学科	55	26	7	14			8		55
	先端材料理工学科	35	25	6	4					35
計	365	226	48	76		7	8	365		
生 命 環 境 学 部	生命工学科	35	30	5					若干人	35
	地域食物科学科	37	32	5					若干人	37
	ワイン科学特別コース*1		(13)						(13)	
	環境科学科	30	25	5					若干人	30
	地域社会システム学科	48	43	5					若干人	48
	観光政策科学特別コース*2		(13)						(13)	
計	150	130	20					若干人	150	
合 計		825	464	191	119	35人以内	8	8	若干人	825

\* 1 地域食物科学科ワイン科学特別コースの（ ）内の人員については、地域食物科学科の人員に含まれます。

\* 2 地域社会システム学科観光政策科学特別コースの（ ）内の人員については、地域社会システム学科の人員に含まれます。

## Ⅱ 出願資格

本学に出願できる方は、次の各号のいずれかに該当し、平成31年度大学入試センター試験のうち本学が指定した教科・科目を受験した方とします。ただし、推薦入試、アドミッション・オフィス入試及び私費外国人留学生入試については、別の出願要件（24ページ～33ページ）によります。

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業した方及び平成31年3月卒業見込みの方
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方及び平成31年3月修了見込みの方
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方のうち次の各項目のいずれかに該当する方及び平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの方
  - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した方又はこれに準ずる方で文部科学大臣が指定した方
  - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
  - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した方
  - エ 文部科学大臣の指定した方
  - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した方（旧規定による大学入学資格検定に合格した方を含む。）
  - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、平成31年3月31日までに18歳に達している方

上記カの個別の入学資格審査については、下記のとおりです。

### ① 申請対象者

平成31年度大学入試センター試験を受験予定及び受験した方で、外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国に設置された教育施設において、高等学校に対応する3年に相当する学習歴を有する方又は有する見込みの方

### ② 申請受付期間

- ・大学入試センター試験出願前に本学の入学資格審査を希望する方  
平成30年8月20日(月)～24日(金) [必着]
- ・大学入試センター試験出願後に本学の入学資格審査を希望する方  
平成31年1月21日(月)～22日(火) [必着]

### ③ その他

申請手続等詳細については、下記までお問い合わせください。

山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話 055-220-8046

### Ⅲ 入学者の選抜方法

#### 1 教科・科目の表記について

大学入試センター試験の出題教科・科目名は、次のように略しています。

教科	表記	科目	表記
国語	国	国語	国
地理歴史	地歴	世界史 A	世 A
		世界史 B	世 B
		日本史 A	日 A
		日本史 B	日 B
		地理 A	地理 A
		地理 B	地理 B
公民	公民	現代社会	現社
		倫理	倫
		政治・経済	政経
		倫理、政治・経済	倫・政経
数学	数	数学 I	数 I
		数学 I・数学 A	数 I・数 A
		数学 II	数 II
		数学 II・数学 B	数 II・数 B
		簿記・会計	簿
		情報関係基礎	情報
理科	理	物理基礎	物基
		化学基礎	化基
		生物基礎	生基
		地学基礎	地基
		物理	物
		化学	化
		生物	生
		地学	地
外国語	外	英語	英
		ドイツ語	独
		フランス語	仏
		中国語	中
		韓国語	韓

個別学力検査の出題教科・科目名は、次のように略しています。

教科	表記	科目	表記
国語	国	国語総合・国語表現・ 現代文 A・現代文 B・ 古典 A・古典 B	国語総合・国語表現・ 現代文 A・現代文 B・ 古典 A・古典 B
数学	数	数学 I	数 I
		数学 II	数 II
		数学 III	数 III
		数学 A	数 A
		数学 B	数 B
理科	理	物理基礎	物基
		化学基礎	化基
		生物基礎	生基
		物理	物
		化学	化
		生物	生
外国語	外	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語 I・コ ミュニケーション英語 II・コ ミュニケーション英語 III・英語表 現 I・英語表現 II・英語会話	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語 I・コ ミュニケーション英語 II・コ ミュニケーション英語 III・英語表 現 I・英語表現 II・英語会話



## 2 一般入試（個別学力検査）の概要

### (1) 前期日程

学部・課程・学科・コース名		選抜方法等	個別学力検査							個別学力検査等の日程	備考 〔欠員の補充の方法等〕
			個別学力検査を課する	実技検査等				2段階選抜			
				実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数 定員に対する倍率		
教育学部	学校教育課程	幼小発達教育コース	○	×	×	×	×	×	×	×	
		障害児教育コース	○	×	○	×	×				
		言語教育コース	○	×	×	×	×				
		生活社会教育コース	○	×	×	×	×				
		科学教育コース	○	×	×	×	×				
		芸術身体教育コース	×	○	×	×	×				
医学部	看護学科	×	×	○ (注)4	○	×	×	×	×		
工学部	工学部	機械工学科	○ (注)5	×	×	×	×	×	×	×	
		電気電子工学科									
		コンピュータ理工学科									
		情報メカトロニクス工学科									
		土木環境工学科									
		応用化学科									
先端材料理工学科											
生命環境学部	生命環境学部	生命工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	
		地域食物科学科 (注)6									
		環境科学科									
		地域社会システム学科(注)7									

(注) 1 ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示します。

2 ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示します。

3 本学の前期日程の学部・学科（課程・コース）と後期日程の学部・学科（課程・コース）との併願は可能です。

4 医学部看護学科前期日程における面接の評価については、16ページを参照してください。

5 工学部の前期日程では、個別学力検査において受験する教科・科目に応じて、志望学科にそれぞれ第1、第2の志望順位を付けて出願することができます。

6 生命環境学部地域食物科学科は、ワイン科学特別コースを含みます。なお、ワイン科学特別コースの志願者は、地域食物科学科(前期日程募集)を第2志望とすることが可能です。

7 生命環境学部地域社会システム学科は、観光政策科学特別コースを含みます。なお、観光政策科学特別コースの志願者は、地域社会システム学科(前期日程募集)を第2志望とすることが可能です。

(2) 後期日程

学部・課程・学科・コース名		選抜方法等	個別学力検査							個別学力検査等の日程	備考 〔欠員の補充の方法等〕		
			個別学力検査を課する	実技検査等				2段階選抜					
				実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数 定員に対する倍率			その他	
教育学部	学校教育課程	幼小発達教育コース	×	×	○	×	×	×	×	×	3月12日		
		障害児教育コース	×	×	○	×	×						
		言語教育コース	×	×	○	×	×						
		生活社会教育コース	×	×	○	×	×						
		科学教育コース	×	×	○	×	×						
		芸術身体教育コース	×	○	○	×	×						
医学部	医学科	○	×	○ (注)4	×	×	○	約10倍	×	3月12日	追加合格及び欠員補充第2次募集		
	看護学科	×	×	○ (注)4	×	×	×	×	×	3月14日			
工学部	機械工学科 電気電子工学科 コンピュータ理工学科 情報メカトロニクス工学科 土木環境工学科 応用化学科 先端材料理工学科	×	×	○ (注)5	×	×	×	×	×	×		3月12日	
		生命環境学部	生命工学科	×	×	○	×	×	×	×		×	3月12日
			地域食物科学科										
			環境科学科										
			地域社会システム学科										

- (注) 1 ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示します。  
 2 ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示します。  
 3 本学の前期日程の学部・学科（課程・コース）と後期日程の学部・学科（課程・コース）との併願は可能です。  
 4 医学部医学科及び看護学科の後期日程における面接の評価については、16ページを参照してください。  
 5 工学部の後期日程では、全学科の間で、志望学科にそれぞれ第1、第2の志望順位を付けて出願することができます。





- (2) 生活社会教育コースにおける大学入試センター試験の（ ）は、上段は地理歴史及び公民を2科目と理科aを受験した場合の配点、下段は地理歴史及び公民を1科目と理科bを受験した場合の配点を示します。
- (3) \*印の教科については、選択教科を示します。
- 5 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ選考の対象となります。
- 6 学部・学科等名及び入学定員等欄のその他は、推薦入試募集人員及び私費外国人留学生入試募集人員を合計した数です。

本学の平成31年度入学選抜における大学入試センター試験の成績は、平成31年度大学入試センター試験の成績のみ利用します。

**【入学試験に過去問題を使用することに関する】**

- (1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- (2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部変更することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。 <http://www.nyushikakomon.jp>



(3) 工学部

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 〔志願倍率〕	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法 等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技		面接	配点 合計
工学部 〔3.1〕 機械工学科 55人 前期 37 後期 8 AO 8 その他 83	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A、数II・数Bの2 物、化の2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物	センター試験	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	900	推薦 外国人
	後期 3月12日	その他	面接	面接	個別学力検査等												400	追加合格 欠員補充
					計	200	100	200	300	300	300	300	300	300	300	300	1100	
電気電子工 学科 55人 前期 35 後期 7 その他 13	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A、数II・数Bの2 物、化の2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物	センター試験	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	900	
	後期 3月12日	その他	面接	面接	個別学力検査等												400	
					計	200	100	200	300	450	350	200	200	300	200	200	1300	
コンピュータ工 学科 55人 前期 35 後期 8 その他 12	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A、数II・数Bの2 物、化の2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物、化基・化から1	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物、化基・化から1	センター試験	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	900	
	後期 3月12日	その他	面接	面接	個別学力検査等												400	
					計	200	100	200	300	450	350	200	200	300	200	200	1300	
					計	200	100	200	300	300	300	300	300	300	300	300	1100	

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 〔志願倍率〕	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法 等						
		教科		科目名等		教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		実技	面接	配点 合計			
		国	地歴 公民	数	理															国	地歴	公民
工学部 〔3.1〕 情報メカト ロニクス工 学科 365人 前期 226 55人 後期 48 前期 35 AO 8 後期 5 その他 83 その他 15	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A、数II・数Bの2 物、化の2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物	センター試験	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	900	推薦 外国人
	後期 3月12日	その他	面接		個別学力検査等																400	追加合格 欠員補充
土木環境工 学科 55人 前期 33 後期 7 その他 15	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A、数II・数Bの2 物、化の2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数I・数A・数II・数B・数III 物基・物、化基・化から1	センター試験	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	900	
	後期 3月12日	その他	面接		個別学力検査等																400	
応用化学科 55人 前期 26 後期 7 AO 8 その他 14	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A、数II・数Bの2 物、化の2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数I・数A・数II・数B・数III 化基・化	センター試験	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	900	
	後期 3月12日	その他	面接		個別学力検査等																400	
					計	200	100	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	1100	
					計	200	100	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	1100	



学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度 志願倍率〕	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法 等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技		面接	配点 合計
工学部 (3.1) 先端材料理 工学科 365人 前期 226 後期 25 AO 6 その他 83	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・教A、教II・教Bの2 物理 物、化の2 外 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)	教 理	教I・教A・教II・教B・教III 物基・物、化基・化から1		センター試験	200	100	100	200	200	200	200	200	200	900	推薦 外国人	
	後期 3月12日		その他	面接		計	200	100	100	450	350	200				400	追加合格 欠員補充	
						センター試験	200	100	300	300	300	200	200			1100		
						個別学力検査等												
						計	200	100	300	300	300	200				1100		

(注)

1 大学入試センター試験の利用教科・科目等

(1) 大学入試センター試験の「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。

2 個別学力検査等

数学

(1) 前期日程における個別学力検査等の数学I、数学II、数学III、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。

(2) 前期日程における個別学力検査等の数学Bは、「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

物理

(3) 前期日程における個別学力検査等の物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。

化学

(4) 前期日程における個別学力検査等の化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。

その他

(5) 前期日程の個別学力検査で「物理」を受験する方は、機械工学科、電気電子工学科、コンピュータ理工学科、情報メカトロニクス工学科、土木環境工学科、先端材料理工学科の間で、「化学」を受験する方は、コンピュータ理工学科、土木環境工学科、応用化学科、先端材料理工学科の間で、志望学科に第1、第2の志望順位を付けて出願することが可能です。

(6) 後期日程においては、全学科の間で、志望学科に第1、第2の志望順位を付けて出願することが可能です。

3

(1) 大学入試センター試験における英語のリスニングテストの成績は全学科で利用します。利用にあたっては、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、外国語の得点は、表中「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。

(2) 面接については、複数の面接員により行います。合格者の判定は、面接員の少なくとも1人が面接判定基準を満たしていると判定した受験生の中から、大学入試センター試験の成績に基づき合格者を決定します。

4 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ選考の対象となります。

5 学部・学科等名及び入学定員等欄のその他は、推薦入試募集人員及び私費外国人留学生入試募集人員を合計した数です。

本学の平成31年度入学者選抜における大学入試センター試験の成績は、平成31年度大学入試センター試験の成績のみ利用します。

【入学試験に過去問題を使用することに関して】

(1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。

(2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部変更することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。

(3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。http://www.nyushikakomon.jp

(4) 生命環境学部

学部・学科等名 及び入学定員等 (平成30年度) (志願倍率)	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の 選抜方法 等									
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科		外国語 小論文	実技	面接	配点 合計					
																		試験の区分	国語	地歴	公民	数学
生命工学科 150人 前期 30 後期 5 学部 (3.8)	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数II・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 物、化、生、地から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数 理	数I・数A・数II・数B・数III 化基・化、生基・生から1	センター試験 個別学力検査等	200	100	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	900	外国人 追加合格 欠員補充	
	後期 3月12日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数II・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数 理	面接	センター試験 個別学力検査等	200	100	100	300	300	300	200	200	200	200	200	200	200	1100		
地域食物科 37人 前期 32 後期 5 学特別コー スの13人を 含む)	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数II・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 物、化、生、地から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数 理	数I・数A・数II・数B 化基・化、生基・生から1	センター試験 個別学力検査等	100	100	100	200	200	200	250	200	200	200	250	200	200	300		
	後期 3月12日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数II・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数 理	面接	センター試験 個別学力検査等	100	50	50	200	400	200	250	400	200	250	400	200	250	1150		
環境科学科 30人 前期 25 後期 5	前期 2月25日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数II・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 物、化、生、地から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数 理	数I・数A・数II・数B 物基・物、化基・化、生基・生から2	センター試験 個別学力検査等	200	100	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	900	
	後期 3月12日	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数II・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 物、化、生、地から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数 理	面接	センター試験 個別学力検査等	200	100	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	900	

学部・学科等名 及び入学年度等 〔平成30年度 志願倍率〕	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法 等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技		面接	配点 合計	
生命環境 学部 〔3.8〕	前期 2月25日	国	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 物、化、生、地から1又は2 物基、化基、生基、地基から2（2科目で1 科目とみなします。）	国	国語総合・国語表現・現代文A・現 代文B・古典A・古典B 数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B コミュニケーション英語基礎・コミュ ニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション Ⅲ英語Ⅱ・コミュニケーション英語 Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話	センター試験	200	※100 又は200〔注3（1）〕	※100	200	※100 又は200〔注3（1）〕	200	200				800	外国人 追加合格 次員補充	
		外	数Ⅰ、数Ⅱ・数Aから1 英、独、仏、中、韓から1 5教科6科目（理科の基礎を付した科目を含む場合は 5教科のみなし6科目）又は4教科6科目（理科の基礎 を付した科目を含む場合は4教科のみなし6科目）	その他	面接	計	*300	*500	※100	*500	※100 又は200	500					1400		
前期150人 後期20人	後期 3月12日	国		その他	面接	センター試験	200	※100 又は200〔注3（1）〕	※100	200	※100 又は200〔注3（1）〕						800		
						個別学力検査等													
						計	200	※100	※100	200	※100 又は200	200				〔注3（3）〕	800		

※・\*印の教科については、選択教科を示します。

〔注〕

- 1 大学入試センター試験の利用教科・科目等
  - (1) 生命工学科、地域食物科学科、環境科学科については大学入試センター試験の「地理」、「公民」、「解答科目」の得点をその成績とします。
  - (2) 地域社会システム学科については大学入試センター試験の「地理」、「公民」、「理科」から3科目以上受験した場合は、得点の高い2科目の合計をその成績とします。ただし、「地理」又は「公民」において同一教科で2科目以上受験した時は、受験した2科目のうち得点の高い1科目のみを成績として利用します。
- 2 個別学力検査等
  - 数 学
    - (1) 前期日程における個別学力検査等の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。
    - (2) 前期日程における個別学力検査等の数学Bは、「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。
  - 物 理
    - (3) 前期日程における個別学力検査等の物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。
  - 化 学
    - (4) 前期日程における個別学力検査等の化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。
  - 生 物
    - (5) 前期日程における個別学力検査等の生物基礎・生物は、全範囲を出題範囲とします。
- 3 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等
  - (1) 大学入試センター試験における英語のリスニングテストの成績は全学科で利用します。利用にあたっては、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比擬できるようにします。なお、外国語の得点は、表中「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。
  - (2) ※と\*印の教科については、選択試験及び大学入試センター試験の成績により選考します。
  - (3) 後期日程においては、面接試験及び大学入試センター試験の成績により選考します。
- 4 個別学力検査等
  - (1) 地域食物科学科ワイン科学特別コースを希望する志願者は、出願時に申し出ることとなります。なお、ワイン科学特別コースの志願者は、地域食物科学科（前期日程募集）を第2志望とすることが可能です。
  - (2) 地域社会システム学科観光政策科学特別コースを希望する志願者は、出願時に申し出ることとなります。なお、観光政策科学特別コースの志願者は、地域社会システム学科（前期日程募集）を第2志望とすることが可能です。

本学の平成31年度入学者選抜における大学入試センター試験の成績は、平成31年度大学入試センター試験の成績のみ利用します。

【入試試験に過去問題を使用することに関して】

- (1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- (2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部変更することも、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の覧については、次のURLにて公表しています。http://www.nyushikakomon.jp

## 実技検査の内容（学校教育課程）

（前期日程・後期日程）

課程・コース	実 技 検 査 の 内 容 ・ 注 意 事 項
学校教育課程 芸術身体教育コース	以下の音楽実技、美術実技、体育実技の中から、いずれか1つを選択すること。
	<p><b>音楽実技を選択する方</b>            下記のⅠ、Ⅱを受験すること。</p> <p><b>Ⅰ 共通課題（音楽基礎能力試験）</b>            下記のA、B、C、Dを受験すること。</p> <p>A 旋律聴音 1題（12～16小節）</p> <p>B 新曲視唱 1題（練習時間5分程度）            移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。</p> <p>C コンコーネ50番 No.15～No.35より当日1、2曲指定する。            移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。            高、中、低声用いずれでもよい。楽譜を見てもよい。</p> <p>D ピアノ 任意の楽曲を1曲演奏すること。            （暗譜すること。繰り返しは省略すること。）</p> <p>（注）Ⅱの選択課題をピアノで受験する方は、上記Dは必要がない。</p> <p><b>Ⅱ 選択課題（演奏実技）</b>            任意の器楽曲、又は声楽曲を1曲演奏すること。</p> <p>1 ピアノで受験の場合            試験当日楽譜を持参すること。</p> <p>2 声楽で受験の場合</p> <p>① 原語で演奏すること。</p> <p>② 出願時に演奏曲の楽譜（ピアノ伴奏の必要な場合は伴奏部を伴った楽譜）を同封すること。</p> <p>3 ピアノ以外の楽器で受験の場合</p> <p>① 電子オルガン（YAMAHA、ELS-01C バイタライズユニット Ver.up 済み）            以外の楽器は各自持参すること。なお、自動伴奏機能は使わないこと。</p> <p>② 出願時に演奏曲の楽譜（曲名及び楽器名を明示。）を同封すること。</p> <p>③ 伴奏は無しとする。</p> <p>（注）1 全て暗譜すること。繰り返しは省略すること。            2 演奏する曲の様式、ジャンルは問わない。自作のものでもよい。</p>
	<p><b>美術実技を選択する方</b>            造形表現力の検査（形態、色彩、構成力などに関する考査を200分で行う。）</p> <p>（注）1 透明、不透明、アクリル絵の具のいずれかと、鉛筆、消具、筆、筆洗、パレット、筆ふき布など、彩色用具一式を持参すること。</p> <p>2 B3画用ボード、イーゼルは本学で用意する。</p>
<p><b>体育実技を選択する方</b>            運動技能に関する検査（運動を行うのにふさわしい服装を準備すること。更衣室の利用可。）</p> <p>活動実績報告書と、その証明書類を提出すること。</p>	

**2 段階選抜について**

志願者数が募集人員の所定の倍率を超えた場合は、第1段階選抜を行い、第1段階合格者に対して、個別学力検査等を実施します。

**【医学部医学科後期日程】**

大学入試センター試験の成績と調査書の内容により、第1段階選抜を行い、募集人員の約10倍を合格者とします。ただし、志願者が募集人員の10倍を超えない場合は、第1段階選抜を行いません。

なお、大学入試センター試験の配点は、下記のとおりとし、調査書は総合判定の資料とします。

国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	合計
200	100	200	200	200	200	900

## IV 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

### 1 相談の時期と方法

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前にあらかじめ教学支援部入試課に申し出てください。

申し出の内容により相談が必要と思われる場合は、学長あての相談申請書(次の①～⑤の事項を記したもの(書式は任意))及び⑥、⑦を添付のうえ、一般入試については、平成31年1月4日(金)までに、その他の入試については、出願開始の1か月前までに教学支援部入試課へ提出してください。

また、必要に応じて、入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

- ① 選抜試験名、志望学部、学科、課程・コース、氏名、生年月日、出身学校
- ② 受験上及び修学上の配慮を希望する事項・内容
- ③ 高等学校在学中にとられていた特別措置
- ④ 日常生活の状況
- ⑤ 連絡先(現住所、電話等)
- ⑥ 医師の診断書等、病気・負傷や障害等の状況がわかる文書あるいはそのコピー
- ⑦ 大学入試センターからの「受験上の配慮事項決定通知書」のある方はそのコピー

### 2 相談の期限以降に生じた不慮の事故等による場合

相談の期限以降に、不慮の事故等で負傷し、新たに身体に障害を有することとなり、受験上又は修学上の配慮が必要となった方は、教学支援部入試課に申し出てください。

### 3 連絡先

山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話 055-220-8046